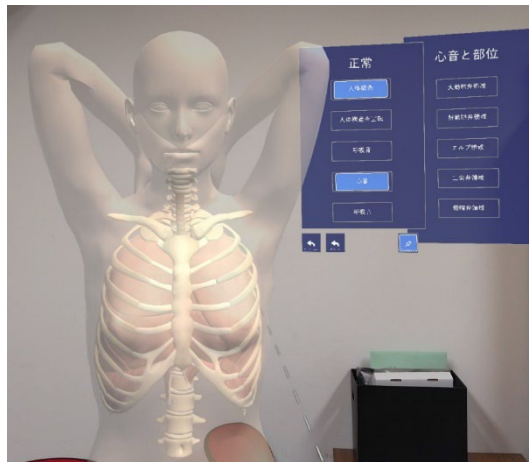


大学名 熊本大学(医学部保健学科)

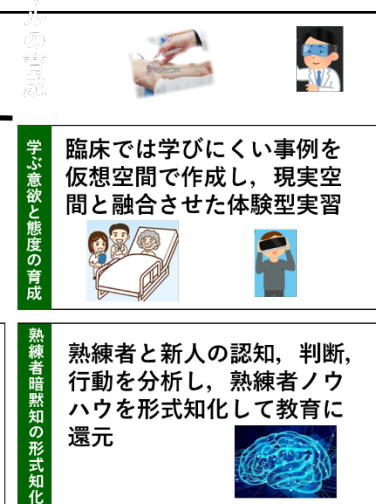
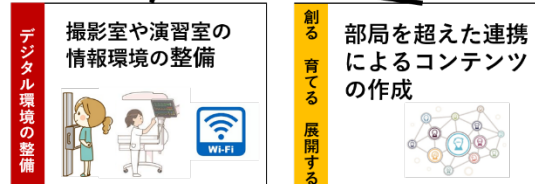
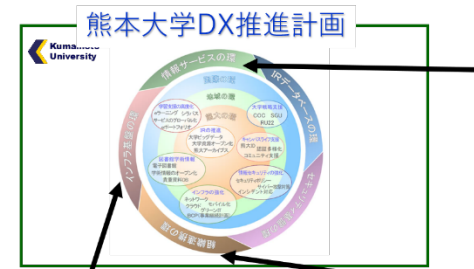
第67号 特集テーマ「大学と新しい学び」

表題 『仮想現実による「スキルの育成」と「学ぶ意欲と態度の育成」を目指した教育方法の開発』

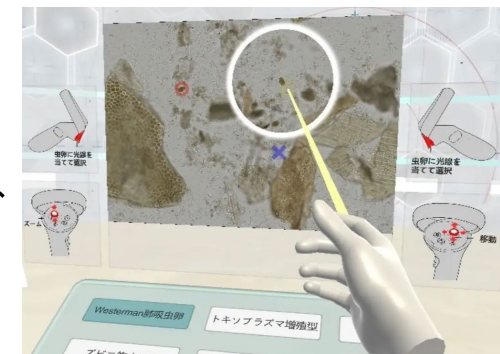
熊本大学では、多様化・複雑化する社会変化に対応できる医療者を育成するために、保健学科の全3専攻(看護学専攻・放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻)において、『学生が自律的に学び続ける力の育成』『行動と経験の見える化による教育の高度化』『デジタル化による教育の効率化』を目指した、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)等のクロスリアリティ(XR)による新たな教育コンテンツの作成と教育環境の整備を行った。(文部科学省が実施する令和2年度「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」採択事業)



現実空間にホログラムを投影し現実では見えない画像や情報を可視化



仮想現実とシミュレータを活用した教育コンテンツの作成により、従来の学習環境では実現困難だった多角的な体験学習が可能となり、学習者中心の学習計画に基づいたトレーニングの場を提供できるようになった。また、臨床では学びにくい事例についても仮想空間による体験型演習を行うことができるとともに、コロナ禍で実習形態及び時間等が制限される状況であっても、臨場感のある体験ができるため、新たな気づきに繋がり、学びの質が向上していることも示されている。今後は他大学等の研究・教育機関と連携し、更に教育コンテンツの充実を目指す予定である。



バーチャルスライドによる虫卵検査